

OMC相談役

上総修一郎氏 他界 (93歳) 世界中を旅され海外作品を多く制作



去る11月25日、当クラブの相談役、上総修一郎氏がお亡くなりになり、26日通夜、27日葬儀が堺でとり行われました。93歳ということでした。

上総氏はエルモクラブで活躍され、その後OMCに入られ、昭和59年OMC発表会で「中国新事情」を発表されて以来、「ダニ族」(1986)、をはじめ「車のない街」(伊1988)、「石のモニュメント」(エジプト1989)、「カスバとメディナ」(モロッコ1990)、「雲南の女たち」(関西シネ90)、「マスク・カーニバル」(ベニス92)、「文房四宝」(中国93)などの8ミリ映画、そしてビデオになってから「トルコにて」(94)、「白い島」(エーゲ海ミコノス島 95)、「象と人とのペラヘラ」(スリランカ 96)、「ヨーク市散策」(英98)、「イギリス縦断紀行」(99)、「タンゴのさと」(02)、「兵馬俑」(03)、「パリの街角で」(04)等の海外ものを数多く発表されています。その他といえば、8ミリで「とんぼ仲間」(85)という記録ものが印象に残っています。

例会で最後の出品は平成25年3月「舞台袖」、その前月は「氷河」という南極で撮られたリバイバル作品でした。2年前の平成26年の例会は作品なしのご出席5回、最後の月は平成26年12月例会でした。

お会いできた頃の氏はやさしい笑顔が思い出されます。93歳、上総さんにとっては悔いのない充実した人生でなかったのか、と試してみたりしています。私もそこまで元気で過ごしたいと念じてはいますが、さあ、それまで生きていきますか。まずは故人のご冥福を祈ります。合掌

・大阪ムービーサークルとしてお花をお供えいたしました。(合原 記)

12月例会のお知らせ

■通常例会：12月24日(第4土曜日) 18時より

今月は第2例会はありません。通常例会は第4土曜24日午後6時より大阪市立難波市民学習センターにて開催します。ぜひお越し下さい。

- ・来年度会費1万円を12月例会日に会計へお納め願います。
- ・幹事の方、13時より幹事会開催（別紙ご案内状の通り）
- ・世話役の方、15時より世話役会開催（別紙ご案内状の通り）

■新年会のお知らせ

例年通り平成29年の新春にあたりまして、新年会を実施します。同じ映像仲間同志の親睦を深める意味で、ぜひ多くの方のご出席を期待しております。なお、会場予約の都合上、出欠のハガキを同封しましたので本年度内に会長宛投函して下さい。

新年会要綱

- ・日時：1月例会日28日午後5時～
- ・場所：例会場すぐ上のレストラン
- ・会費：5,000円（当日徴収）
- ・出欠ハガキ：年内到着、合原会長宛
（注）出席の通知者で当日無連絡欠席者は後日4000円を支払い下さい。
- ・予告：1月例会は第4土曜28日ですが、夜に新年会を開催しますので、例会は13時からになります。
時間変更よろしく申し上げます。

■難波市民学習センター企画の「駅前映画館」に 当クラブが単独参加、3月27日午後開催

かねてより例会場の難波市民学習センターより呼びかけられていた「駅前映画館」に当クラブも応えることにしました。テーマは「大阪の昭和と、いま」にして10～15作品を集めたいと思います。昭和らしい雰囲気をもつ作品をお持ちの方はぜひご協力ください。これが成功すれば、毎年1～2回は、今後は大阪アマチュア映像連盟の名で会場無料で参加できそうです。

■予 告

第36回 日本を縦断する映像発表会

日時：3月11日（土）12時30分～

場所：大阪市立中央図書館 講堂

いつもは11時30分開場、12時開会でしたが、今回は30分遅らせました。

閉会は従来通り16時30分です。2部制になります。

第3回 映像北大阪 映像発表会

日時：3月5日 日曜日

場所：守口市

■メールアドレスの変更お知らせ

野田邦雄さん、森口吉正さん、森田光春さん、進藤信男さん、前田茂夫さん
（会員専用ページに記載）

■BD-RE録画作品が一瞬にして消滅の怖さ体験

11月通常例会の当日、例会出品作品として提出された作品が上映できなかったお話。

掲示板には進藤さんの作品が掲示されていましたが、何故か取り止めに…。聞けばパソコンによりBD-REに録画された作品が、ボタン操作のミスで一瞬にして消去されてしまったとのこと。BD-REに録画したものは、こういう思わずトラブルが発生するという貴重な体験でした。BD-Rならが決してこんなことにならない筈ですが。それにしてもパソコン操作は怖い…。

11月通常例会レポート

紅葉の本格的季節を迎えた11月例会日の26日は、晴天の行楽日和。ところが、誠に残念ながらOMC相談役の上総修一郎氏が前日亡くなられ、例会日の夜は通夜の日でした。代表として関事務局長に参列していただき、例会は予定通り午後6時より開会いたしました。

本日の司会は合原会長、書記、坪井氏、映写係、岡本氏、パソコン録画、江村氏、掲示、紙本氏、受付兼照明係、宮

崎、森下の各氏で進行しました。はじめに会長より上総さんの死去についての報告が行われました。

■**出席者**：赤澤、有村、稲田、江村、岡本、紙本、西村（光）、合原、柴辻、進藤、坪井、前田、宮崎、森口、森下、高瀬、華岡、森田、山本、弓取の20氏と作品12本。

■**上映作品**（今月の講評は坪井世話役）

1. 鹿の角切り 前田茂夫 2分49秒

作者ご本人は失敗した結果と言っておられますが、どうしてどうして、実に的確にコンパクトにまとめられて角切イベントのあらかたが良くわかります。しかし何度見ても思うのは、人間ってのはホントに勝手な生き物であるかを思います。鹿には災難ですよ・・・、でも毎年角を切られる事が何年何十年も続いているけど鹿も学習したらそんなに逃げなくても良いと思うのですが・・・、どうなのでしょう（笑）。

2. 阿佐海岸鉄道 江村一郎 7分

始まりと最後にスクエアマスクをしてオシャレな雰囲気を出してますね。どこかでマネさせてください（笑）さて、赤字路線で100円稼ぐのに500円の経費が掛かるのは辛いですね。作品中で線路の高架が多くみられたのでそれも経費のかかる原因のひとつでしょうか？旅人として見る分には情緒があって癒やされる景色ですが地元にとっては深刻ですよ。継続を祈りたいです。江村さんらしい魅せるカットに引き込まれ一緒に旅気分を楽しませていただきました。

3. ツールーズとルルド 華岡 汪 10分13秒

私が小学生のころに本で見たルルド「ルルドの泉」はもっと素朴であんな大教会は無かったような・・・いやあ、すごいですね！たくさんの人々が列をなして聖水を求めて来てますが効果はどうなのでしょう？神様もたいへんだなあ？等と言うと怒られますね。華岡さんは世界のあちこちを旅して作品を見せていただきましたがこの作品で初めて（少なくとも私にとって）祈りを捧げられた！それも「世界平和と日本の繁栄」うう～ん、私なら宝くじが当たりますように・・・

4. 名古屋鉄道三河線 紙本 勝 12分25秒

健脚の紙本さん、13キロ近くも歩かれたとかでスゴイの一言！廃線のレールが残る跡を歩く旅は憧れますが難所も多く、トンネルや橋を迂回しての大冒険ですね。あの橋は怖かったですね！よく撮影されましたね驚きました！電車から降りるシーンや各所での自分撮りや地元の方のインタビューも上手いですね！ビデオ作りは行って撮る楽しみ、編集する楽しみ、作品を見せる楽しみ、さらに役者として出演して演じる楽しみまでと、私も毎回楽しんで見せてもらっています。

5. 少林寺拳法 宮崎紀代子 9分20秒

大阪狭山市の支部が集まって大会の様子です。気合いと元気いっぱい画面から溢れてくるようです。動きが速い拳法のワザをがんばってアップで撮って大成功！これは慣れないと撮れないです、私なんかは引きで撮るようにしています、お見事です！試合は本気でやらないとケガをする事があるので皆真剣ですね、礼にはじまり礼に終わる、試合が済んだら讃え合う姿は感動的でした。良いシーンを捉えてキマりましたね！私の嫁さんも少林寺拳法黒帯2段なんですよ、こわいこわい（笑）

6. 山谷祭 高瀬辰雄 13分20秒

これは珍しい横に広がって山車を引く祭りを始めて見ました。どこの祭りもそれぞれ特徴がありますが、この祭りは男性のみで女性の姿はありませんでした。もっともあの格好ではムリですが・・・

それぞれに飾り付けをし、彫刻などの細工も立派な山車を横に出た担ぎ棒？で引き回すのは迫力満点です。さらに、まさかと思いましたが海へ入ったの引き回しは驚きました。碧い空と海に映える山車が実に美しいですね！撮影の為にしょに海に入ったようですが、カメラは大丈夫でしたか？

7. 中国鉄道の旅 山本正夢 12分20秒

なんと5000キロ、1週間かかっての鉄道の旅！他の人には絶対マネの出来ない旅ですね！見てたら新幹線をパクったような列車もあり、えっと思います、漢字をデカデカと書かれた列車はいかにも中国らしい（笑）そして驚くほど質素な張りぼてのようなりニア列車の運転席、ちゃんと運行してくれるのかが心配になります・・・列車を乗り継ぎ乗り継ぎ旅は上海からカシュガルまで、切符を買うのに何時間も並んだそうです、そして列車が西へ行くに従って乗客の顔がだんだんと西域に代わっていくのが印象的でした。

8. 続・大阪夏の陣 有村 博 8分30秒

前回は大阪市内を中心に紹介されましたが、今回は東大阪市、八尾市、羽曳野市、藤井寺市、柏原市と5市にかけて取材されました。大河ドラマもいよいよクライマックス、夏の陣が始まります。

この広範囲な舞台を戦場として駆け回ったのですね、まさに歴史ロマンです。と、今の時代に生まれたので呑気な事を言ってますが幸村をはじめ徳川軍も豊臣軍も歳若い武将と兵たち、多くの犠牲が出たのは悲しい事実ですね・・・石碑などを辿りながらそんな事を考えさせられる作品でした。

9. 宇治秋色 坪井仁志 5分10秒

2008年映像北大阪の撮影会作品です、紅葉はまだ早かった（笑）水の音が少煩わしかったと思います。平等院は修復前の姿で鳳凰も現在は金色ですが当時は青銅色でした。ここに月があったらいいな、ここに太陽があったらいいな?という訳で月と太陽は合成です、ごめんなさい！

10. 東福寺 弓取克弘 8分

美しい紅葉ですね！TVでおなじみの場所ですが最近では季節限定で撮影禁止になったそうです。紅葉はこう撮るんだというお手本のような見事さでした。ただ司会からもご指摘のあったようにすごく盛り上がったBGMのところと映像との一体感を少し考慮されたらという事でした。

動から静への転換を考えてBGMも含めて編集されている事は上手いなあと感じましたが欲を言ってもう一息！司会の合原さんの助言を参考にしてみてもいいと思います。更なるバージョンアップを期待します。

11. 御手洗祭 森口吉正 9分20秒

浴衣の裾を上げる女性の姿が一瞬映り、おお！と思いましたがなるほど伏線でしたか（笑）

森口さんは人を引きつける構成が上手いですね！聞きやすいナレーションからも心地よく情景が伝わってきます。水量が多いみたいですね、冷たい水に浸かり蠟燭を奉納して、御神酒ならずお水をいただくのは夏らしく、老若男女共に授かる事ができて良いですね。行ってみたいくなりました。そしてこことみたらし団子が結びつくとは思いがけない展開でした、屋台でみたらし団子は無かったですかね？

12. 堺ごころ 柴辻英一 9分20秒

歌謡ビデオと言えば柴辻さんというイメージが強いのですが、これぞ決定版歌謡ビデオ！

「待ってました」の聲がかかりそうです！可愛らしいモデルさんは16歳とか？メイクすると女性の歳は分からないですね。誉めてばかりもしゃくなので、あえていちゃもんを3つ！

- 1.私服、浴衣、制服の順とその衣装の必要性がわからない。
- 2.浴衣のアップのとき、衿の乱れを直してから撮影したいね。
- 3.制服の時はメイクをもう少し自然になるよう考慮してほしい。

以上、失礼いたしました m(_ _)m

11月第2例会レポート

第2例会は第3木曜日17日13時より難波市民学習センターにて開催。第2例会は時間が多くとれるうえ、出品数も少ないので、ゆっくりと司会の時間がとれるメリットがあります。

今日は6本の作品を上映したほか、新宿ビデオ愛好会発表会作品の中から5本を選んで参考作品として上映いたしました。他クラブの発表会作品を見ることは大変参考になります。

今月の司会は合原氏、書記、高瀬氏、上映担当、進藤氏、メモリ記録、江村氏、受付兼照明係、宮崎氏、掲示は紙本氏で第2例会を進行しました。

■出席者：稲田、植村、有村、江村、合原、関、紙本、高瀬、華岡、前田、宮崎、森田、山本の13氏と作品6本。
参考作品5本。

■上映作品（今月の講評は高瀬世話役）

1. ビルウオッチング昭和、平成（BD） 有村 博 11分13秒

まず登場するのは昭和61年制作のVHS映像の大阪の高層ビル。この年、新たに建て替えられた大阪市役所を紹介し、バードウオッチングにちなみビルウオッチングを試みようと思ったとナレーションで作品の意図を語られている。ところ

が何処にどんなビルがあるか、いろいろ尋ねても分からず、ようやく消防局で30F以上のビルが13棟あることが把握でき、梅田センタービル、ロイヤルホテルビル、中ノ島センタービルなど建った順番に編集されている。縦長のビルの撮影にも苦労され、大変な労力を注がれた作品といえます。そして「昭和」が終わり、「平成」は26年3月に誕生したあべのハルカスの外観やビル内からの展望。行かれた日は春霞がかかり、28年後の大阪の高層ビル群はあまりはっきりしなかったようです。なおネットで調べると平成25年現在で大阪には200m超の超高層ビル5棟を含め100m以上の高層ビルは172棟あり、その数は世界第18位だそうです。

2. 出雲大神宮 鎮花祭 (BD) 紙本 勝 7分50秒

出雲大神宮は京都・亀岡の神社。島根の出雲大社とは特に関係はないそうですが、日本一の縁結びの神様という評判で、京都一番のパワースポットとして今人気上昇中。紅葉の名所でもあるが、紙本さんが行かれたのは春。平安時代、疫病退治と雨乞いのお礼のため始まったとされる鎮花祭（はなしずめのまつり）を主体に撮影、編集されている。雅楽が響くなか巫女の舞があり、鎮花の踊りが始まるとナレーションで説明、踊りが始まるのだが、最初はなんとハワイアンの演奏に乗ってのマナイの唄と女性の踊り。続いて獅子の神楽舞の奉納、四方の舞では獅子に天狗が加わり笛と太鼓の音とともに優雅に演じられる。最後は出雲風流踊りをいろいろなアングルから丹念に撮られ、鎮花祭の様子がよく分かる作品に仕上げられている。それだけに司会者からも指摘があったが、最初のハワイアンの踊りは雰囲気合わないように思われます。

3. 巨大クルーズ船 (BD) 江村一郎 6分15秒

大阪港に入港してくる巨大クルーズ船「クァンタム」と「クィーン・エリザベスIII」を撮られている。まず全長348m、16万トン、乗船客4180人のクァンタム号の入港を長回しの撮影、編集で、巨大な船が徐々に近づいてくるワクワク感を盛り上げている。船内の豪華さはテレビの映像で紹介。そして船から降りる観光客や船体のアップを江村さんらしい映像で表現され、夕日の情景に変わり、次のクィーン・エリザベスIII号の入港シーンに移る。同船も全長294m、9万トンと巨大。優美な船の姿と、これを見物する人も江村さんならではのアングルと編集でまとめられている。ただクァンタムの入港の日が2016年6月28日、クィーン・エリザベスIIIは同年3月22日とあり、映像的には両船の前後のつながりはいいように思いますが、夕日のシーンがあって、次に日付が戻るのは戸惑いを感じます。

4. 田山花踊り (BD) 高瀬辰雄 9分45秒

毎年11月3日の文化の日に行われる京都府相楽郡南山城村の雨乞いの神事「田山花踊り」取材した拙作。車で1時間半、旧田山小学校に昼前に着くと、講堂で踊りの準備が進められていました。小さな子供から高齢者まで地域総出で踊りに取り組まれている姿は撮影意欲を掻き立てます。準備が終わると入端（いりは）と呼ばれる行列を組んで氏神の諏訪神社へ。「中踊り」と呼ばれる数人の青年が踊りの中心で2メートルほどのシナイと呼ばれる飾りを背負って踊り、単調でやや間延びしたような雨乞いの唄と太鼓の音が里に響きます。太鼓の音がうまく集録できず、太鼓の音を忠実に再現するのムリという指摘をいただいた。

5. 高雄見て歩き (BD) 山本正夢 8分20秒

台湾の高雄の街を歩き、撮影された作品。いつもほとんど観光客が訪れるような所には行かない山本さん。今回の台湾・高雄も庶民の朝市から始まり、おにぎり屋さん足止めたり、鉄道博物館や展示されているSL、日本時代の家屋や清朝時代の鳳山県旧城、砲台など時代の流れを感じさせられるような風景を撮影。そして高雄港から船に乗り、高雄市は最初、打狗（ダコウ）市といったが、犬を叩くという意味で、ふさわしくないことから名前が変わったなど街の歴史にも触れ、旗津天后宮や旧英国領事館を探訪され、やがて夜の帳が下り、屋台のような食べ物を売る店が並ぶ通りを歩き、ラストは夜景の遠景で静かに終わる。朝から夜まで時間の経過の中で高雄の街をテンポよく紹介され、慣れ親しんでいる街をぷらっと散歩するようなカメラワークで描かれている。

6. 人人人 (BD) 関 剛 9分30秒

行き交う人々の画面いっぱいの人、ひと、ヒトの文字を書体を変え、散りばめた1分近くのタイトルに驚かされる。人をテーマに切れの良いカットとその編集で期待が膨らむオープニング映像である。ただ道頓堀、川を行か交う船上の人々、えびす橋、心齋橋筋、法善寺、黒門市場などと続くシーンはアングルや構図に凝った撮影で引き込まれるものがあるが、タイトルの映像のような意表をつくようなものではなく、どちらかといえばオーソドックスな表現で様々な人の姿を描写。路地の風景は情緒もある。それぞれの人の表情はさすがに的確に瞬間をとらえ印象深く、ラスト近くはアップテンポのBGMに乗って外国人と飲食店の看板などのアップの連続で一気に盛り上がる。アップテンポのBGMが入った映像とそうでないシーンの印象が異なるのを改めて感じました。

■参考作品 第14回新宿ビデオ愛好者発表会作品集より

1. 生かされた命を歩む	中村孝子	8分
2. 元気でイキイキ	隠岐宣二	10分
3. いのち連綿と	蒲 宏樹	9分
4. アンリ・フォルマンがやってきた	筒井俊明	9分
5. 出原のおとしき祭り	内田一夫	10分

■例会作品のデータベース化完了

これまで何度かOMC例会ニュース及び会員作品のデータベース化についてお知らせしましたが、一応完了しましたのでご報告します。

1. 会報はS50以降から残っていますが、昭和の時代は途中で欠落が多くあり残念に思っています。
平成の分は元年から現在まで全て揃いました。当時ではまさか何十年も経ってデータベース化することなど想像すらできませんでした。致し方ありません。

2. 残っている例会ニュースから、年月、作品名、作者、上映時間を1作品ずつデータベース「桐」にインプットしました。データベース・ソフトはエクセルとは違って大量のデータを加工・処理するには最適のアプリです。
全作品数はおよそ4600件あります。

3. データは次のように加工しています。

①年月順に並べただけの単純データ集

②氏名別に括って並べたデータ集

このデータ集から自分の作品だけをピックアップして印刷すれば、自分の作品記録になります。

③上映作品数の多かった作者順に並べた集約表も作りました。

OMCの長い歴史の中でいかに活躍された方がおられる、どの会員が会の活動に貢献されてきたか、が判ると思います。HPには出品本数の多い会員順に並べた表を作りましたのでご参照下さい。

・因みに出品数の多い方は：

1. S51-03～	有村 博	336本
2. S54-04～	江村一郎	322本
3. S51-05～	前田茂夫	256本
4. S51-03～	合原一夫	191本
5. H14-08～	山本正夢	147本
6. H12-02～	河合源七郎	141本
7. H13-12～	進藤信男	139本
8. H10-05～	森口吉正	138本
9. H15-10～	紙本 勝	137本
10. H09-05～	増池 茂	127本

以上の各氏が、S50以降から本年11月例会月まで（途中欠落号があります）

OMCの歴代10傑出品者となります。

4. 別に作った集約した個人別全記録からは過去の会員諸氏の名前がすべて判ります。
鬼籍に入られた方も多くおられますので、古い会員諸氏には故人を偲ぶ一助になることと思います。

5. アップロードしている「個人別作品年度・月度別記録」から自分のデータをどのようにして選択するかは、HPに詳しく書きましたのでご参照ください。

（H28-11例会現在のデータから）

HPのアーカイブの中から「出品本数の多い会員別記録」をご覧ください。

パソコンにエクセルまたはOpen Officeがインストールされておれば、ダブルクリックすれば見ることができます。

- ・ [OMC旧ホームページ](#)より確認下さい
- 「[OMC news アーカイブ](#)」を開き：
「OMC個人別作品年度・月順記録」（エクセルの表）
「出品本数の多い会員別記録」（エクセルの表）を参照

ほかにも各種データベースを探せます。

OMC年表

OMC公開映写会の記録

OMC撮影会の記録

大阪アマチュア映像祭の記録

懐かしの映像作品を楽しむ会の記録

■YouTubeへ作品をアップロードしてみませんか（再）

作品を例会以外で見えていただく方法の一つにYoutubeへアップロードしてOMCのホームページにリンクして載せる方法があります。その方法は下記からみられます。（前田・坪井記）

下記のリンクから入って下さい。

[28-09-youtube-upload.pdf](#) へのリンク